

請負契約締結後、軽微な配管変更によって、緊急時の管洗浄能力が増すことに加え、平常時の維持管理が大幅に軽減できることが判明したため、仕切弁と洗浄弁を追加し、不断水工法を変更する。

試験堀りの結果、不断水工法箇所と継手部が近接していることが分かり、既設管の離脱が懸念されることから、離脱防止押輪を追加で設置する。また、既設管が歩車道境界ブロック直下に布設されていることが分かり、維持管理上、占用位置を歩道内に変更する必要があるため、関連する材料と土工を変更する。

配管変更に伴う鋳鉄管布設工の延伸により、既設の給水整備1件に影響が及んだため、仮設給水工と給水整備工を1箇所追加する。